

## 第5回 本郷新記念札幌彫刻賞 募 集 要 項

札幌芸術の森美術館中庭に3年間設置する作品を全国公募します。

札幌出身の彫刻家本郷新(1905-1980)は、彫刻の公共性・社会性を重視し、全国に数多くのモニュメントを設置しました。

その功績を記念するとともに、自分を越えて多くの若い彫刻家が育ってほしいという願いを受け継ぎ、札幌市と本郷新記念札幌彫刻美術館は、50歳未満の彫刻家を対象として、多くの人の目に触れる場所に作品を設置する機会を提供しています。

第5回受賞作品は、現在展示中の第4回受賞作品と同様に、札幌芸術の森美術館中庭への展示を予定しています。

札幌芸術の森美術館中庭は、周囲を壁やガラス面に囲まれた屋外空間であり、冬には1mほどの積雪があります。移り変わる季節のなかで、設置場所や今という時代と響き合う作品をぜひご応募ください。

【主 催】 札幌市、本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団)

【協 力】 札幌芸術の森美術館(札幌市芸術文化財団)

【 賞 】 本郷新記念札幌彫刻賞 100万円  
受賞記念展作品制作費 50万円

【選考委員】 酒井 忠康(美術評論家)  
建島 哲 (草間彌生美術館館長、川口市美術館館長)  
植松 奎二(彫刻家)  
阿部 典英(美術家)  
佐藤 友哉(美術評論家、前札幌芸術の森美術館館長)  
吉崎 元章(本郷新記念札幌彫刻美術館 館長)

【応募締切】 2026年9月27日(日) 17:00必着

【応募資格】 ・国内在住で、2026年9月27日時点で50歳未満の方。国籍は問いません。  
・グループでも構いません(ただし、全メンバーが50歳未満で構成)。

【設置場所】 札幌芸術の森美術館中庭(札幌市南区芸術の森2丁目)(別図参照)

【設置期間】 2027年10月中旬～2030年4月末(予定)

【応募作品規格】 ※当規格に適していない場合は、選考の対象外とします。

・作品は未発表の立体作品に限ります。また、作品の中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を使用していないものとします。

### サイズ、重量等

- ・中庭の敷地(幅23.2m×奥行11.6m)内であれば、単体でも複数の要素で構成する作品でも構いません。
- ・サイズ、重量は自由ですが、搬入口(高さ2.4m×幅1.9m)から搬入可能なものとします(設置場所での組立可)。
- ・中庭に通じる荷解室と設置地面との高低差が約23cmあり、基本的に人力で搬入できるものとします(板等

でスロープをつくることは可能)。

- ・壁やガラス面には接しないこととし、また、壁やガラス面を加工することはできません。

### 安全性・耐久性等

- ・素材は問いませんが、約3年間の展示期間中、雨、風、直射日光、積雪など屋外の環境に耐える堅牢なものとし、特に、冬期間は1m近い積雪があるため、その対策を充分に取ってください。ただし、安全面等が確保できれば、経年変化をみせる表現でも構いません。なお、冬季間の除雪は行いません。
- ・中庭への鑑賞者の立ち入りについては、受賞者と主催者、施設管理者の協議のうえ決定します。ただし、立ち入りを可能にした場合でも、悪天候時や積雪時期は中止します。また、監視員をつけることはできません。
- ・設置地面は明灰色の砂利敷になっています。固定等のために約15cmの深さまで掘り込むことが可能です(一部掘り込めない場所があります)。
- ・設置箇所の原状復旧が可能な固定方法にしてください。
- ・耐久性や固定方法については、応募者の提案に基づき主催者側で構造計算等を行って判断し、必要に応じて変更を依頼する場合があります。
- ・作品の設置、撤去及び輸送に係る費用は、予算の範囲内で札幌市が負担します。各方法等については協議のうえ決定するものとし、ます。
- ・展示期間中のメンテナンスについては、別途協議するものとし、ます。
- ・作品の設置期間中は、借用する作品の盗難、滅失、破損、汚損等に備えるため、札幌市が受託者賠償責任保険に加入する予定です。ただし、下記の事例のように保険対象外となる場合があります。  
(受託者賠償責任保険資料より一部抜粋)
  - 雨または雪等に起因する損害
  - 作品の自然消耗、または作品の性質による蒸れ、かび、腐敗、変色、さび、汗ぬれ、またはその他これらの類似の事由に起因する損害

### **【賞全体の流れ】**

- |             |  |
|-------------|--|
| ① 応募書類提出    | 2026年9月27日(日) 17:00必着<br>送付または直接持込。事前に応募料振込が必要     |
| ② 選考        | 2026年10月上旬   |
| ③ 結果公表・通知   | 2026年10月中旬(予定)                                     |
| ④ 授賞式       | 2026年10月下旬(予定)<br>授賞式の来札時に搬入・設置等の打合を実施             |
| ⑤ 作品制作      | 受賞作品及び受賞記念展用の作品を制作<br>制作期日は別途調整                    |
| ⑥ 作品搬入・設置作業 | 2027年10月初旬(予定)                                     |
| ⑦ 作品展示      | 2027年10月中旬～2030年4月末(予定)<br>作品設置や組み立て等に時間を要する場合、調整可 |
| ⑧ 受賞記念展     | 2027年秋(3ヶ月程度)<br>本郷新記念札幌彫刻美術館にて開催                  |

## 【応募方法】

- 応募書類 次の書類を提出してください。  
※応募書類は、返却いたしません。  
応募票(指定様式1~4)  
様式1:応募者基本情報(応募料振込情報を含む)  
様式2:応募作品の制作意図  
様式3:応募作品のイメージ図  
模型等の写真を添付することも可能です。  
様式4:これまで制作した作品(4点まで)  
※指定様式は本郷新記念札幌彫刻美術館ホームページからもダウンロードできます。  
<http://www.hongoshin-smos.jp>
  
- 提出先 〒064-0954 札幌市中央区宮の森4条12丁目  
本郷新記念札幌彫刻美術館
  
- 応募料 5,000円(1点につき)  
〈振込先〉北海道銀行真駒内支店 普通口座 口座番号0037930  
公益財団法人札幌市芸術文化財団  
※一度納入された応募料は返還しません。  
※振込手数料は応募者の負担となります。

## 【その他】

- ・受賞作品は、札幌芸術の森美術館の中庭に約3年間展示します。
- ・受賞作品の著作権については、受賞者に帰属します。ただし、主催者が受賞作品の画像、音声、動画を、本事業の広報および記録のために、印刷物、ホームページ、SNS、テレビ、ラジオ、新聞等に自由に使用することができるものとします。
- ・提出書類は、札幌市情報公開条例の定めるところにより、公開される場合があります。
- ・個人情報、受付、管理、選考、各種連絡の目的以外には使用しませんが、受賞者の氏名、住所(市町村まで)、年齢は公表いたします。
- ・本要項のほか、必要と認める事項は、その都度主催者が定めるものとします。

## 【設置場所の下見】

- ・設置場所には、札幌芸術の森美術館の休館日、及び悪天候時を除き、開館時間内に立ち入ることが可能です。
- ただし、現場での採寸や地面状況の確認など、見学以外の実作業を希望される方は、下記の方法でお申し出ください。
- ① 本郷新記念札幌彫刻美術館にメールにて3日前までに希望日時をご連絡ください。  
[hongoshin\\_info@artpark.or.jp](mailto:hongoshin_info@artpark.or.jp)
  - ② 調整のうえ、メールにて返信します。
  - ③ 当日、札幌芸術の森美術館の受付にて氏名をお伝えください(開催中の展覧会をご覧いただけません)。

**設置場所** 札幌芸術の森美術館中庭 (札幌市南区芸術の森2丁目)

札幌芸術の森美術館は札幌市の郊外に1990年に開館しました。豊かな自然のなかに74点の彫刻を展示する野外美術館を併設するとともに、多彩な展覧会を開催し、さまざまな関心をもった幅広い年齢の方々が訪れる、札幌における文化芸術のひとつの拠点になっています。その中庭は、エントランスロビーから展示室に通じる渡り廊下下面に面しており、美術館を訪れた方が必ず目にする場所です。このタイル張りの壁とガラス面に囲まれた屋外スペースを生かして、これまでも多くのアーティストが作品を展開してきました。



下沢敏也《Re-birth 風化からの森II》2011年



ダム・ダン・ライ《Color Explosion-色彩爆発-》2012年



椎名澄子《風の子》2015年



冬に渡り廊下から見た中庭の光景(2023年2月撮影)

**【問い合わせ先】**

本郷新記念札幌彫刻美術館  
〒064-0954 札幌市中央区宮の森4条12丁目  
電話 011-642-5709 FAX 011-616-0900  
E-mail hongoshin\_info@artpark.or.jp